

# ワンニヤン通信

2016年  
8月

毎日厳しい暑さが続きます。クーラーの効いた部屋と、

外の気温の温度差にやられぎみです。汗をかかない室内でも

水分と塩分をこまめに取るようにしないと！！

ということで・・・今月は熱中症について。



猫ちゃん・特に犬ちゃんは熱中症に注意してあげて下さい。

## 熱中症にさせないために！！

### 1・散歩は早朝か日が沈む夕方に

特に太っている・短頭種などは熱がこもりやすいので要注意！！

人の手や足で触って熱い場合は犬・猫の足にも熱く、外の気温が

30℃以上を超える場合は絶対に散歩はしないでください。



火傷を起こすことがあります。



### 2・毎日新鮮な飲み水を用意

常に水を飲めるようにしてください。水浴び用に浅いトレーなどを準備すると良いかもしれません。

### 3・室外にいる場合は、日陰がある場所に

時間帯によって太陽の位置が変わります。常に日陰がある場所においてあげましょう。

### 4・暑い日の車内に放置するのは絶対にしないでください。

車内の温度は外の温度より高温になりやすく危険性が高まります



# 犬の熱中症



- ・体が熱くなる
- ・目が充血したり、耳の内側が赤くなる



- ・激しくあえぐような咳をする



- ・足元がふらつく



- ・大量のよだれが出る



- ・ぐったりする

# 猫の熱中症



- ・元気がなく口を開けて呼吸をする



- ・足元がふらつく



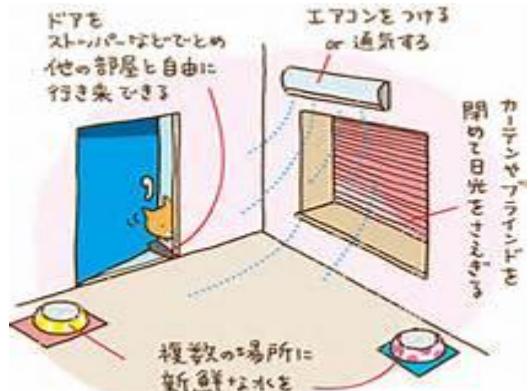
- ・よだれをともなう激しい呼吸



- ・酸欠によるチアノーゼや全身の痙攣

症状が進むにつれ、下痢やおう吐、痙攣、失神などの症状が見られ、ショック症状を起こして死に至る恐れがあります。

# 熱中症予防



- ・猛暑の日中、留守の時はクーラーや扇風機などをつけ温度調節を！
- ・厚手のカーテンなどで日差しをさえぎる。
- ・ねこちゃんは涼しい場所に移動できるようにしてておく。
- ・新鮮な水をいつでも飲めるようにしておく。
- ・鼻の短い犬、黒い毛、高齢・幼齢の犬猫は特に注意が必要です。

担当 川久保